

甲斐市議会建設経済常任委員会会議録

1. 開催日時 平成30年7月31日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員（7名）

委員長	金丸 寛 君	副委員長	清水 和弘 君
	加藤 敬徳 君		清水 正二 君
	斉藤 芳夫 君		内藤 久歳 君
	藤原 正夫 君		

欠席委員（なし）

傍聴議員（6名）

議長	長谷部 集 君		伊藤 毅 君
	秋山 照雄 君		横山 洋介 君
	金丸 幸司 君		有泉 庸一郎 君

説明のため出席した者の職氏名

建設産業部長	下 笹 俊彦 君	建設課長	樋口 充 君
建設総務係長	森 田 公 君	建設管理係長	保坂 俊和 君
建設土木係長	芳 賀 康貴 君		

職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	岩 下 和也	書記	興石 文明
書記	中 込 美智子		

内容

- 1 市道路線認定について（現地視察）（建設課）
- 2 主要地方道甲府昇仙峡線長潭橋整備事業について（現地視察）（建設課）
- 3 その他
- 4 視察研修及び意見交換会について
- 5 その他

開会 午後 1時25分

○書記（中込美智子君） 改めましてこんにちは。ご参集、大変お疲れさまです。

ただいまより建設経済常任委員会を開会いたします。

本日の委員会は、初めに金丸委員長よりご挨拶をいただきまして、委員長の進行により議事を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、次第の2、委員長挨拶、金丸委員長、よろしくお願いいたします。

○委員長（金丸 寛君） 改めましてこんにちは。

本当に酷暑といえますか、非常に熱中症が心配されるような暑さが続いております。そんな中でのご参集、まことにご苦労さまでございます。お互いに健康には留意しながら、この暑さを乗り切っていきたいと、そのように考えておりますので、よろしくご協力のほうお願いいたします。

ただいまの出席委員は7名です。定足数に達しておりますので、これより建設経済常任委員会を開会いたします。

○委員長（金丸 寛君） 本日の会議を開きます。

なお、本日は委員外議員の傍聴を許可しますので、ご承知おきください。

質疑は、委員の質疑を受けた後に、傍聴議員の質疑を受けたいと思います。傍聴議員の質疑は、さきの申し合わせのとおり、会派の割り当て人数により行います。

質問は1問とし、再質問は1回までとします。念のため人数を申し上げます。甲斐市民クラブ2人、創政甲斐クラブ2人、新政会1人、公明党1人、颯新クラブ1人、日本共産党甲斐市議団1人となります。

それでは、これより次第3、内容に入ります。

(1) 市道路線認定について及び(2)の主要地方道甲府昇仙峡線長潭橋整備事業について、一括で行います。

両件は現地視察を行いたいと思いますが、委員よりご意見等ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金丸 寛君） それではお諮りいたします。両件は、お手元に配付した派遣計画（案）により委員を派遣することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金丸 寛君） ご異議なしと認めます。

よって、計画書のとおり派遣することに決定しました。

なお、派遣承認申請は委員長において作成し、議長に提出したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金丸 寛君） ご異議なしと認め、そのようにいたします。

それでは、担当より一括にて説明を受け、現地へ移動したいと思います。

担当より説明をお願いします。

樋口建設課長。

○建設課長（樋口 充君） お疲れさまでございます。

（１）の市道認定の件につきましてご説明をさせていただきます。

委員会資料１ページをお願いいたします。位置図につきましては、２ページとなります。

市道路線認定につきましては、道路法第８条の規定により、９月定例市議会におきまして提案を予定しているところでございますが、この常任委員会におきまして５路線の現地確認を先にお願ひするものでございます。

本日、現地確認をお願いいたします市道路線につきましては、委員会資料１ページの路線番号609、西八幡字柳原地内の柳原宅造２号線、路線番号610、西八幡字柳原地内の柳原宅造３号線、路線番号611、西八幡字柳原地内の柳原宅造４号線、路線番号483、西八幡字柳原地内の中八幡中道支線、路線番号612、西八幡字柳原地内の柳原宅造５号線をお願いするものでございます。

確認していただきます路線につきましては、いずれも宅地分譲に伴う開発区域内の道路でございます。なお、詳細につきましては、現地で担当から説明をさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

引き続きまして、２番の主要地方道甲府昇仙峡線長潭橋整備事業につきまして説明をさせていただきます。

こちらにつきましては、現在、山梨県中国建設事務所が行っております事業になりますが、今回、現地におきまして県の担当者から事業内容等の説明をしていただけることになりました。

たので、視察のほうをお願いするものでございます。

資料につきましては、現地でお配りいたしますのでよろしくお願いたします。

以上となります。

○委員長（金丸 寛君） 説明が終わりました。

質疑については、現地視察の後、委員会室へ戻ってから行います。

ここで暫時休憩いたします。

休憩 午後 1時30分

再開 午後 3時15分

○委員長（金丸 寛君） 予定の時間より少々早目ですけれども、会議を再開します。

暑い中の現地視察、大変お疲れさまでした。

初めに、市道路線認定についてを行います。

既に内容説明は終わっておりますので、これより質疑を行います。

ここで委員並びに職員各位に申し上げます。質問は一問一答とし、また、質問、答弁は簡潔明瞭にさせていただけますようお願い申し上げます。

それでは、委員より質疑等がありましたら、お願いたします。

ございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（金丸 寛君） なければ、委員の質疑を終了いたします。

続いて、傍聴議員の質疑を許します。

〔発言する者なし〕

○委員長（金丸 寛君） ないようですので、傍聴議員の質疑を終了いたします。

以上で、市道路線認定についてを終わります。

次に、主要地方道甲府昇仙峡線長潭橋整備事業についてを行います。

本事業は、県の事業ではありますが、特にお聞きしたいことがあれば、委員の質疑をお受けいたします。

ございますか。

清水委員。

○委員（清水正二君） 長潭橋はあれなんですけれども、その下の何と言いましたっけ、桜橋の県の様子というか、その辺のところ辺は話があるかどうか。

○委員長（金丸 寛君） 下笹部長。

○建設産業部長（下笹俊彦君） どうもありがとうございました。暑い中、お疲れさまでした。

長潭橋を、きょう、見ていただいたんですが、その南側のほうに甲府市の水道局の浄水場のそばに桜橋があります。そちらも古い橋でして、それを今、市のほうの所管とすれば都市計画課になりますけれども、県のほうでは地元の説明会等の準備を進めて、図面ももう出ているようなので、そちらのほうについても先行して桜橋だけをかけて、あとは県道の拡幅というふうな段取りになるというふうなお話は聞いております。

以上です。

○委員長（金丸 寛君） ほかによろしいでしょうか。

藤原委員。

○委員（藤原正夫君） きょう、これを見てあれなんですけれども、これにつながるのは大体広域農道だと思うんですけれども、その後、部長さん、何か進展はあったでしょうか、広域農道について。今、ちょっとおくらしている区画が吉沢地区にあるんですけれども、もし、状況が変わるようなことがあったら、情報があつたらお聞かせ願いたい。

○委員長（金丸 寛君） 下笹部長。

○建設産業部長（下笹俊彦君） 広域農道についてですが、やはり県の中北農務事務所の事業で、茅ヶ岳東部広域農道という通称名の中で行っておりますが、現在、最終的には亀沢川というんですか、外道へ入っていくところへ橋をかけたりしなきゃならない事業が残っているわけですし、判このもらえていない地権者が3名ほどいるというふうなことの中で、その亀沢橋について測量さえもさせていただけなかったという経緯がございますが、今回、地籍調査がそこへ入ることについては入ってもいいですよということが地権者のほうから話がありましたので、今年度の地籍調査の事業で、そこへ今、入っております。それで地目、地形等が確定した中で、県とまた一緒に交渉をしていくというふうな段取りになるかと思えます。

○委員長（金丸 寛君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） ありがとうございます。

少しは測量もということで、地主さんも折れたとか、ちょっとそんな経緯ということはあるのかと思うんですけども、今後、いろいろなことで長い目で見てということもあるでしょうけれども、そうは言っても、この長潭橋もあそこまで来ているし、亀沢橋もで

きてもう3年ぐらいたつわけですので、住民としてもいろんな意見がありますけれども、なるべく早く、また再三、いろんな議員さんも後押しをしているんですけども、なお一層、市でも努力していただきたい、このように思います。

以上です。

○委員長（金丸 寛君） そのほかにございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（金丸 寛君） なければ、委員の質疑を終了します。

続いて、傍聴議員の質疑を許します。

有泉議員。

○議員（有泉庸一郎君） 長潭橋の、今、左岸側のほうは橋台ができていたようですが、右岸側のほうを見ますと、あそこに何か農業用水の取り入れか何かありますよね。あれは今回のこの長潭橋の改修では、やっぱりかかってくるわけですよ。その辺の話はどうなっているんでしょうか。

○委員長（金丸 寛君） 下笹部長。

○建設産業部長（下笹俊彦君） あそこが寺平地区の皆さんが管理している農業取り入れ口になっておまして、あそこに先ほども見られたんですが、おりていく道路がちょっと見えたと思いますが、あれも含めまして地元の皆さんとの話し合いももう完了しているというふうなことで図面も出ているようです。その中で、また右岸側につきましては今年度から着手をするというふうなお話を聞いております。

○委員長（金丸 寛君） そのほかにございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（金丸 寛君） なければ、傍聴議員の質疑を終了します。

以上で、主要地方道甲府昇仙峡線長潭橋整備事業を終わります。

次に、（3）その他を行います。

建設課から報告がありますので、説明をお願いいたします。

樋口建設課長。

○建設課長（樋口 充君） 現地視察ありがとうございました。

その他ということで、まず長潭橋から市道認定のところに来る間に、長塚橋のところを皆さんに通っていただきましたので、若干、長塚橋について説明をさせていただきます。

過日、7月19日ですけれども、市のほうからは市長と議長、また金丸委員長のほうにご

出席をいただきまして、また地元の自治会の歴代の区長さん方にも出席していただきまして完成報告会をした次第でございます。

こちらにつきましては、県の河川の護岸工事を含めまして、長塚橋の拡幅をお願いしたところでございます。

まず橋のほうですけれども、延長が17.8メートルで、幅員が6.5メートルになってございます。今までは長塚橋につきましては4メートルということで幅員が狭かったわけですけれども、2.5メートル、幅員が広がったところでございます。それにつきましては、子供たちの通学路でもありますし、交通安全の面でも幅員が広がったということで安全面について解消ができたのではないかなと思っております。

全体の工事費なんですけれども、県のほうで、こちらの護岸改修並びに橋の工事の部分で1億959万7,000円ほど全体の事業費がかかってございます。この中で市のほうでは橋の橋梁部分ですけれども、4,700万円ほど市のほうで負担をしているところでございます。工期につきましては、平成29年3月9日から30年7月13日までということで工期が終わって、19日に完成報告会ということでさせていただきましたので、以上でご説明のほうを終わらせていただきます。

○委員長（金丸 寛君） 続けてやってください。

課長。

○建設課長（樋口 充君） 引き続き、市道の愛称名募集について中間報告ということで報告のほうをさせていただきます。

こちらにつきましては、5月の常任委員会で説明をさせていただきました市道の愛称名募集につきまして、7月2日から7月27日までの期間、募集をいたしまして、188名の方から337通の応募をいただきました。

昨日なんですけれども、市道愛称名の制定実行委員会を開催いたしまして、委員さん方に選考をしていただいたところでございますけれども、結果については、まずは結果を確定しまして、本人への連絡をまだしておりませんので、8月の常任委員会におきまして結果のほうは報告させていただきたいと思っております。

今後のスケジュールですけれども、8月中旬に本人のほうへ連絡をし、発表させていただき、9月1日、土曜日になりますけれども、表彰式並びに除幕式を開催する予定でございます。

以上で市道の愛称名募集について説明を終わらせていただきます。よろしく申し上げます。

○委員長（金丸 寛君） 下笹部長。

○建設産業部長（下笹俊彦君） もう一件、ご報告をさせていただきたいと思いますが、皆さん、ご存じのとおり、ことしの6月18日に、大阪北部を中心とした地震が発生いたしました。そこでかわいそうなことにブロック塀が倒壊して小学校の女の子が亡くなってしまったという悲惨な事件がございました。それで日本全国あるいは山梨県内でも、そのようなブロックに対しての撤去等、対応のいろいろな補助金の動きが出ているところなんです、甲斐市につきましても、スピード感を持った対応を今考えております。

内容としましては、甲斐市の生け垣及び花壇推進に関する補助要綱というのがございまして、その中を一部改正して、ブロック塀撤去についても補助金が出せるような形で今取り組んでおります。内容につきましては、8月の常任委員会のほうで詳しい内容のほうをご説明させていただきたいと思いますので、ご承知おき願いたいと思います。

以上です。

○委員長（金丸 寛君） 説明が終わりました。

委員の説明に対する質疑を行います。

質疑がありましたらどうぞ。

藤原委員。

○委員（藤原正夫君） 今、部長の最後のブロック塀等の地域のあれですけれども、撤去のいろんな面について助成金というか、8月の私たちの常任委員会には大まかなことができるということなんですけれども、その前に、同じように前からそういう何というか、あれがあるということがわかっていたのかどうか、ちょっとそのところ、お聞きしたいんですけれども。

○委員長（金丸 寛君） 下笹部長。

○建設産業部長（下笹俊彦君） その前からわかっていたというのは、ブロック塀の撤去についてですか。

○委員（藤原正夫君） そうです。

○建設産業部長（下笹俊彦君） これは先ほどもお話をしましたように、甲斐市の生け垣及び花壇推進に関する補助要綱というのがございまして、ここにつきましては、現状あるブロックを潰して、生け垣等、花壇等をつくった場合の補助金というのがございました。これにプラスして、新しくブロック撤去の要綱をつくっていきますと時間がかかりますので、この要綱の一部を改正する中で、このブロックを撤去することのみにも対応できるような形で今、

検討しているところでございます。

○委員長（金丸 寛君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） わかりました。じゃ、また中味については次回のときに聞くということとで。

それからもう一点、またこれも来月わかると思いますということですが、道路名称ですけれども、除幕式もやるということでしたね。場所はどこでやるんですか。

○委員長（金丸 寛君） 樋口課長。

○建設課長（樋口 充君） 今、除幕式のほうは表彰式とあわせてさせていただきたいと考えております。また、その序幕をする場所なんですけれども、今、双葉側にするか敷島側にするか、ちょっと検討をさせていただいておりますので、また8月に説明をさせていただきたいと思っております。

○委員長（金丸 寛君） よろしいでしょうか。

そのほかございますか。

斉藤委員。

○委員（斉藤芳夫君） 今のブロック塀の件ですけれども、民間の普通の方のそれはともかく、公共施設の中に、その該当するような部署があったか。あるいは、それを調査したかどうかはどうですか。

○委員長（金丸 寛君） 下笹部長。

○建設産業部長（下笹俊彦君） 具体的には、私のほうでも把握はしていないわけですが、学校等の公共施設に関しては、全部調査を終わっているというふうに聞いております。

また、それらについても今後、予算を確保しながら対応していくということも聞いております。

○委員長（金丸 寛君） 斉藤委員。

○委員（斉藤芳夫君） 学校関係のところとか通学路は調査したというけれども、それを報告は建設産業部は関係ないということですか。

○委員長（金丸 寛君） 下笹部長。

○建設産業部長（下笹俊彦君） 総務教育の委員会のほうで取りまとめをしているというふうな、部のほうで取りまとめをしているということで、こちらのほうでの把握はしてございません。

○委員長（金丸 寛君） よろしいでしょうか。

清水正二委員。

○委員（清水正二君） 先ほどブロックの今の藤原委員のあれでもって、花壇のそれを適用するというですけれども、花壇の場合にはメーター数があるじゃないですか。やっぱりブロック塀となれば、新しくそれをつくる中で、何というのか、花壇と同じようなメーター数ではなくて、少なくともそれが対象になるような形で検討してほしいと思うんですけれども。

○委員長（金丸 寛君） 下笹部長。

○建設産業部長（下笹俊彦君） メーター数というふうな規定は、現在の要項のほうにもございませんでして、平米当たりというふうなことで、今、現状ある要綱が平米当たり9,000円ということで、それについて全体でその3分の2を助成するんですが、限度額が18万というふうなことで、メーターとか、そういったものはうたっていないというふうに承知しております。

○委員長（金丸 寛君） 清水委員。

○委員（清水正二君） ブロック塀の撤去のほうはそうかもしれないけれども、花壇の整備をして、それに補助金を出すという中で、花壇でもって、そのメーター数というのはあるというふうに前に聞いたようなことがあるんですけども、補助金対象でね、それはないですか。

○委員長（金丸 寛君） 下笹部長。

○建設産業部長（下笹俊彦君） ちょっと手元の資料にはありませんので、また調べましてお答えしたいと思います。

○委員長（金丸 寛君） 清水委員。

○委員（清水正二君） 花壇の条例という形の中でやるんで、そこら辺がブロック塀に関してはこうだというふうな形の中で検討してもらえると、いわゆる災害のときに倒れたりということがなくなるので、それを加味してもらいたいと思います。

もう一点、すみません、先ほどの長塚橋のときに、グリーンベルトで片側だけグリーンベルトというか、なっていたんですよね、道路でね。あれは県のほうのあれなんだけれども、うちのほうでは大塚バイパスのところ、たしか片側だけですよ、広がっているんですよ。そういった形で、これからの道路というのは、今までは道路の道路幅というのがあって、両方とも歩道を狭くもとっていたじゃないですか。そういった形というのは、今後、道路を整備していく中で、片側を歩道を広くとるというふうな形というのは可能な形になるんですか。

○委員長（金丸 寛君） 芳賀係長。

○建設土木係長（芳賀康貴君） 今、引いてあるグリーンベルトというのは、全て通学路に引いてあるんですけれども、グリーンベルトというのは、あくまでも広くはしてあるんですけれども、ここは通学路ですよというのを車両にわからせるためにグリーンに引いているわけなんですけれども、ただ、そこは広がっているんで、子供たち、そこを歩くんですけれども、今、グリーンベルトを引いているというのは、あくまで通学路に限った話になっております。

○委員長（金丸 寛君） 清水委員。

○委員（清水正二君） 大袋バイパスの場合も、そういう通学路という考え方ですか。

○委員長（金丸 寛君） 下笹部長。

○建設産業部長（下笹俊彦君） 大袋バイパスの施工については、県道のバイパスということなんですけど、あそこについては片側だけずっと歩道がついて、歩道になって、歩道整備をしてございます。

○委員長（金丸 寛君） 清水委員。

○委員（清水正二君） それで、要するに歩道整備をするのに、今まで道路を整備するときには、1本の道路があつて、両肩側に白いラインを引いて、歩道だか車道の幅だかという形でやっていますよね。それを片側に寄せてということは、今後、道路を整備していく上で、それが可能なかどうかということをお聞きしたいんです。

○委員長（金丸 寛君） 芳賀係長。

○建設土木係長（芳賀康貴君） あくまでも今言ったとおり、通学路に限った話になるかと思うんですけれども、基本的には外側線があつて、その道路の端までは路側帯という格好になりますので、片側を広げて、そこにグリーンベルトが引けるような幅員をとって引いているという形になりますので、歩道として見ているわけではなくて、路側ということで、それでその路側内にグリーンベルトを引ける幅を確保するというやり方は、とっていけると思います。

○委員長（金丸 寛君） 下笹部長。

○建設産業部長（下笹俊彦君） あと、歩道の関係で、一方かえをしてずっといくというような内容ですが、やはりケース・バイ・ケースになるかと思います。現在、県道の大屋敷のところをずっと工事して、東小学校の通学路にもなっているわけですが、あそこには両側ずっと県道で歩道がついておりますし、やはりケース・バイ・ケースの扱いになるかと思います。

○委員長（金丸 寛君） 清水委員。

○委員（清水正二君）　というのは、これから今後、市道の整備とか、道幅を広げるとか、いろいろな整備事業が出てくると思うんですよね。そういったときに、やっぱり通行量がそうでもないときには、路側帯というか、そういうものもあれかもしれないけれども、つければ、そういう形で片側へ寄せれば、歩道がそこにできるんじゃないかなというふうに思っているんです。そういうこともまた可能な形であれば、これから人が安心してできる歩道の整備とかと、甲斐市の中にもそういう形のものがあるんで、そういうことも検討してできるのかなということをお聞きしたかったんですけれども、わかりました。また今後の課題とさせていただきます。

○委員長（金丸 寛君）　よろしいですか。

清水副委員長。

○委員（清水和弘君）　1点お聞きしたいのは、民間のブロックなんですけれども、このブロックの対応はあくまで民間の方の任意の中でやるんでしょうか。それとも指導か何かがあるんでしょうか。

○委員長（金丸 寛君）　下笹部長。

○建設産業部長（下笹俊彦君）　現在、ブロックに関しての補助金を、スピード感をもって対応しているというお話をさせていただきましたが、これについては甲斐市の管理する道路に面したものであるということで、民間のものについても対応できるというふうな格好です。

あと、民間個人が個人個人の敷地の間に例えばブロックがあったというふうなものについては、やはり個人の責任で考えていただく。あくまでも今考えているものにつきましては、公道に面するブロックというふうなことで、一応今考えております。

○委員長（金丸 寛君）　清水副委員長。

○委員（清水和弘君）　公道に面しているという話なんですけれども、それはあくまでも個人の任意で、例えば撤去とかしていく方向、公共的な立場のほうから指導とかそういうことは、ここの通学路は危険だから、ちょっと何とかしてくれとか、そういった要望とか指導は。

○委員長（金丸 寛君）　下笹部長。

○建設産業部長（下笹俊彦君）　今、想定されているのは、公道に面したブロックについて補助金制度を創設したので、ブロックの撤去をこの機会にしてくださいというアナウンスは強くしていこうと思っています。

あと、やはり限度額も決まっていたり、個人負担も出てくるものですので、やはり個人にお願いをするところが多いかとは思いますが、今、想定しているのは時限で、時限立法じゃ

ないですが、期間を区切った中での対応を今考えております。そこで、その間にやれば、こういう仕組みができるよというふうな部分もPRしながら、あと、継続的には、また防災のほうで何らかの形で、そういった要綱等を整備しながら、今後引き継いでいくというふうなことを今想定しておりますが、現状としましてはスピード感を持って、今、対応できるものを期限を区切るなのでこの機会にやってください。これは全国的にも今、非常にブロック塀に対しての関心が高まっておりますので、この機会をアナウンスしていきながら、何とか民間の方にもそういう意識を持っていただくというふうなことを、ホームページだったり広報であったりで知らせていきたいなというふうに考えております。

○委員（清水和弘君） わかりました。

○委員長（金丸 寛君） よろしいですか。

そのほかにございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（金丸 寛君） なければ、委員の質疑を終了します。

続いて、傍聴議員の質疑を許します。

ございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（金丸 寛君） なければ、傍聴議員の質疑を終了します。

以上で建設課からの報告を終わります。

次に、建設課関係で、委員より特にお聞きしたいことがありましたらお願いいたします。

よろしいですか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 道路監視の問題で、この高温に基づいてアスファルト舗装が一部、例えば飛行場が熱でもってなっているというふうな情報とか、そういうものは入っていますか。

○委員長（金丸 寛君） 樋口課長。

○建設課長（樋口 充君） 今のところ高温によるアスファルトのそういった情報は入っておりません。

○委員長（金丸 寛君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） それは今まで建設課の道路管理ということで、定期的に点検をしたり整備をしている。それはずっと継続してやっているよね。

○委員長（金丸 寛君） 樋口課長。

○建設課長（樋口 充君） 道路パトロールは随時しておりますので、その点であった場合には、すぐ処理をしているような状況でございます。

○委員長（金丸 寛君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 多分、今、道路も老朽化してでこぼこしているようなときは、そういう熱の影響によって陥没するとか、そういうようなことも発生する可能性があるのでは、というのは、そういうことがあると事故にもつながるといようなこともあるので、そういった観点から、パトロールする日にもちょっと注意をして、ふだん、ただ回るだけじゃなくて、そういう観点から、そういうことがないかどうか見てもらうというふうな指導をしてもらいたいと思うけれども。

○委員長（金丸 寛君） 下笹部長。

○建設産業部長（下笹俊彦君） ありがとうございます。

今、建設課長のほうでお話をしたように、日常的な職員あるいは道路パトロールというふうなことで実施しておりますが、各地区においても、区長さんを初め、気がついた方が相談をこちらにしてくれるというのが日常的にありますので、そういったものをいろんな情報を収集しながら、事故等が起こらないような対応を今後も心がけていきたいと考えております。

○委員長（金丸 寛君） そのほかございますか。

[発言する者なし]

○委員長（金丸 寛君） ないようですので、以上でその他を終了します。

ここで暫時休憩し、職員は退室いたします。

休憩 午後 3時43分

再開 午後 3時44分

○委員長（金丸 寛君） 会議を再開します。

次に、次第の4、視察研修及び意見交換会についてを議題といたします。

初めに、視察研修について協議したいと思います。

本年度は、2年に一度の常任委員会の視察研修の年となっております。日程は10月または11月の予定で、本日、委員より意見を聞き、次回、8月30日の常任委員会で内容を決定したいと考えておりましたが、先週、27日の総務教育常任委員会終了後、滝川委員長より

今回の常任委員会の視察研修については、6月の定例会で特別委員会を設置し、調査研究を進めることとしているバイオマスと緑化センターの関係を全議員で視察研修ができれば、本市が直面する課題に対する有意義な研修になるのではないかと提案があり、厚生環境常任委員長と私、建設経済常任委員長に、合同研修という形で全議員でのバイオマスと緑化センターの関係の視察研修の実施について申し入れがありました。

後ほどお諮りいたしますが、この件に関しまして、各委員の意見をお聞きしたいと思います。

加藤委員、いかが考えますか。

○委員（加藤敬徳君） 私のほうもお話を伺って、これからいろんな話し合いをしていく中で、いろんなそういう実際に行っている自治体なりなんんりの成功例とか、そういったのをやっぱり見たいので、ぜひともそういった関係のところへ行ってみたいと思います。

○委員長（金丸 寛君） 賛成ということですね。

○委員（加藤敬徳君） 賛成です。

○委員長（金丸 寛君） 続きまして、清水正二委員。

○委員（清水正二君） 総務の委員会を傍聴してしまして、内容的にはお聞きしたんですけども、そういった特別委員会を設置してやるものがあるということなんで、そのもの自体にはあれですけども、基本的には、やはり委員会は委員会として研修というものをやっていく。それが常任委員会ですから、常任委員会ごとにやっぱりそれなりにやるということが基本的なベースだと思うんです。

前にも1回、合同研修をやりましたね。そういった経過もあるんであれですけども、まだそういった、私は見ていないという議員さんもおられますので、今回、私は全体で行くことには賛成しますが、基本的にはやはり委員会は委員会として、それぞれ委員会ごとの研さんをしていくということが一番いいのではなかろうかというふうに思っております。

合同研修に関しては、総務の委員会を傍聴しましたので賛成をいたします。

○委員長（金丸 寛君） 続きまして、清水副委員長。

○委員（清水和弘君） 私は賛成をいたします。

○委員長（金丸 寛君） 齊藤委員。

○委員（齊藤芳夫君） 3常任委員会の委員長とバイオマスと緑化センターの委員長がいますので、委員長と執行部でよく協議して、一番いい方法をとってください。

○委員長（金丸 寛君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 4年前にも合同という研修をやったんですけれども、そのときもいろいろと議論があったわけなんですけれども、今回については、甲斐市がこれから取り組んでいく大きな事業ということの中で、なおかつ半数ずつが各特別委員会へ在籍しているということを見ると、それぞれの常任委員会ごとにやる目的に、常任委員会の所管に沿った内容の研修をするということもありますけれども、その点については、今回については合同と申しますか、特別委員会ごとにやる、あるいはまたその手法については、またいろいろ今後、協議をしていくこともあるかと思うんですけれども、合同でやるということについては賛成をしたいと思います。

以上です。

○委員長（金丸 寛君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） 初めて聞いたことで、ちょっとあれなんだけれども、4年前に合同で全部行ったと。そのときは多分、経費削減にもつながるしということが半分ぐらい目的だったかなということも、ちょっと私なりには感じているところなんですけれども、今の説明を聞きますと、バイオマスと緑化のあれですか、22人が半々に分かれているということで、今後、今からこの議会としても一番大きな問題かなと思うんですけれども、でも、私はやっぱり3常任委員会がある以上は、それはそれでもいいですけれども、できれば専門で建設は建設、厚生は厚生、いろんな本当の真の道がある、専門のあれがあると思うんで、できれば単独で行ったほうが良いような気がいたします。その合同に関しても、別に反対ではないですけれども、できれば常任委員会があるということであれば、そっちのほうで単独で、各3常任委員会が行ければと、こんなふうに思います。

以上です。

○委員長（金丸 寛君） ありがとうございます。

各委員の皆さんからのお考えと申しますか、合同研修に関してのご意見を頂戴しました。

それではお諮りしたいと思います。視察研修については、総務教育常任委員長の申し入れのとおり、3常任委員会合同で、バイオマスと緑化センターの関係を視察することに同意してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金丸 寛君） 反対のご意見も……

それでは、多少の意見の相違もあろうかと思いますが、視察研修については、申し入れに同意することに決定をいたします。

なお、視察研修につきましては、今後、各委員長と協議することになると思いますので、結果については、別途報告させていただきます。

以上で視察研修についてを終わりたいと思います。

次に、意見交換会について協議したいと思います。

お手元に建設経済常任委員会が所管する関係団体の一覧表を配付しております。過去の実施団体は、裏面の意見交換会実施団体一覧表のとおりであります。

こちら日程は10月または11月に予定したいと考えます。次回の常任委員会で内容を決定したいと思いますが、ご意見等、ございましたら伺いたいと思います。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） これは黒の網かけは既に終わっているということなんですけれども、私は竜王魅力発信協議会、これは当初600万からの予算をつぎ込んで、今現在は500万ぐらいいやっていますけれども、今までの流れの中で、財源を投入している間は、なかなか活性化につながっていないといふような意見もあって、直接こういったことに携わっている人の意見を聞きながら、どういう点が問題なのかというようなことも1つ議論する必要があるかなというふうに今思っています、私はこの魅力発信協議会との懇談会をやったらどうかなというふうに思っております。

以上です。

○委員長（金丸 寛君） そのほかご意見ございますか。

齊藤委員。

○委員（齊藤芳夫君） この関係団体一覧表の中に、例えば赤坂活性化協議会みたいな、これは農業振興地域整備推進協議会の中の一部ですか、違いますか。

○委員長（金丸 寛君） その他の赤坂地区活性化協議会ですか。

○委員（齊藤芳夫君） にはないの。これは関係団体の、その協議会自体がない。

○委員長（金丸 寛君） 自体というか、大きくなったわけです。

○委員（齊藤芳夫君） それで、どれの団体の中に組み込まれたんですか。

○委員長（金丸 寛君） この赤坂ですね。網かけの一番上、その他のところございますね、赤坂地区活性化協議会、これが名称が変わりまして、甲斐市活性化協議会という名称変更ということで、赤坂も含めて甲斐市全体での協議会ということで存在は、名称変更ということで存在してございます。

齊藤委員。

○委員（齊藤芳夫君） そうすると、これは建設経済だけに関係した団体ではなくなっちゃったという考え方でいいということですね。

○委員長（金丸 寛君） 名称変更ということで、管轄は当常任委員会の管轄ということには変わりはないということです。

齊藤委員。

○委員（齊藤芳夫君） そうすると、関係団体一覧の中にないということですね。

〔「名称変更」と呼ぶ者あり〕

○委員（齊藤芳夫君） 名称変更だから、その名称ではないということですね。甲斐市活性化何とか協議会という名称はあるんでしょう。

○委員長（金丸 寛君） 興石係長。

○書記（興石文明君） すみません、こちらの一覧表のほうが昨年度作成したもので、名称変更、更新されておられませんので、大変申しわけありません。

○委員長（金丸 寛君） 齊藤委員。

○委員（齊藤芳夫君） 私はそこの協議会と話し合いの懇談会を持つほうを希望します。

○委員長（金丸 寛君） そのほかにご意見ございますか。

それぞれご意見もあろうかと思いますが、それでは各自ご検討いただきまして、内容の提案等がありましたら、8月7日火曜日までに事務局へ連絡をお願いしたいと思います。そういったことでよろしいでしょうか。

〔発言する者なし〕

○委員長（金丸 寛君） それでは、そのようにお願いいたします。

以上で視察研修及び意見交換会についてを終わります。

続いて、次第5、その他に入ります。

委員より常任委員会関係で、その他、何かありましたらお願いいたします。

清水正二委員。

○委員（清水正二君） 先ほど現地視察で行ったときに、上八幡公園、今いろいろと手をつけ出したようなので、次の委員会のときには上八幡公園の進捗状況というか、そこら辺のところをお聞きしたいと思うので、よろしく申し上げます。

○委員長（金丸 寛君） そのほかございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（金丸 寛君） ないようでしたら、事務局よりその他、何かありましたらお願いい

たします。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○委員長（金丸 寛君） 以上でその他を終了します。

以上をもちまして、本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして、建設経済常任委員会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午後 3時58分